

# 「屋久島世界遺産」研究フォーラム

## 屋久島の価値と科学の役割



雨量観測



植生調査



湿原調査

平成21年6月27日(土) 午後2時～5時  
屋久島町安房総合センター (鹿児島県熊毛郡屋久島町安房)

### 問い合わせ先

○屋久島森林環境保全センター  
(濱田) TEL 0997-42-0331

○九州森林管理局指導普及課  
(長谷川) TEL 096-328-3593

基調講演「屋久島の価値と科学の役割」

／矢原 徹一 (九州大学大学院教授)

パネルディスカッション

「求められる屋久島、期待される調査研究」

**事前申し込み不要・入場無料** (直接会場においでください。)

主催：九州森林管理局、九州地方環境事務所、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、屋久島町  
共催：(財)屋久島環境文化財団

屋久島が世界遺産に登録されてから15年が経過しました。屋久島の自然を世界遺産として価値あるものとして、将来にわたって確実に引き継いでいくため、関係行政機関でつくる屋久島世界遺産地域連絡会議では「科学委員会」を設置し、科学的な助言を基に世界遺産地域の保全・管理を進めていくこととしました。

「自然と共生する島づくり」のため、科学がどのような役割を担うのか、また科学との連携を深めるために何が必要なのかについて、「科学委員会」の設置の趣旨や目的の紹介を行いながら、「科学委員会」の検討方向について議論を深める研究フォーラムを開催します。

## ■ プログラム

- 13:30 開場
- 14:00 開演／開会挨拶
- 14:10 基調講演「屋久島の価値と科学の役割」  
／矢原 徹一（九州大学大学院教授）
- 14:50 休憩
- 15:00 報告「屋久島世界遺産地域科学委員会設置とその目的」
- 15:10 パネルディスカッション  
「求められる屋久島、期待される調査研究」  
パネリスト：矢原徹一、吉田茂二郎、大山勇作、太田五雄、日高十七郎  
コーディネーター：吉良今朝芳
- 16:50 閉会挨拶
- 17:00 閉会

## ■ 講演者、パネリスト、コーディネーターの紹介

矢原 徹一（九州大学大学院理学研究院教授）

理学博士。日本生態学会会長。専門は生態学、進化生態学。

屋久島は、助手時代から研究フィールドであり、屋久島の希少植物の分布とヤクシカとの関係を明らかにするプロジェクトを実施。本年5月に繁殖生態学分野での学術的貢献やみどりの保全活動が評価され「みどりの学術賞」を受賞。

大山 勇作（屋久島野生植物研究所主宰）

屋久島高校在職中から屋久島の保全活動に関わる。中途退職し、「屋久島野生植物研究所」を設立。研究所にガイド事業部を設け、自然インストラクターを始めるなど、島の自然や文化を伝える活動を継続している。

日高 十七郎（屋久島町長）

合併前の旧屋久町長を平成元年から平成19年まで務め、世界遺産への登録に関わる。合併後の初代屋久島町長として、集落活性化が町の活性化につながるという理念から、各集落の特色ある文化や伝統を支援した政策を一貫して続けている。

吉田 茂二郎（九州大学大学院農学研究院教授）

農学博士。専門は森林計画学。80年代から30年近くになつて、ヤクスギ天然林に固定試験地を設け、成長や動態に関する研究を実施。屋久島の古地図やヤクスギの年輪から過去のヤクスギの分布や動態を推定する研究も実施している。

太田 五雄（登山家・ガイド）

日本山岳ガイド協会公認ガイド。屋久島山岳研究50年。屋久島環境共生企画を設立。昭和47年屋久島最初の山岳詳細地図作成。著書に「屋久島の山岳」「至宝の大自然・屋久島」などがある。屋久島の自然を記録する活動を現在も実施中。

吉良 今朝芳（鹿児島国際大学教授（非常勤））

農学博士。専門は環境社会学、森林環境学。屋久島での森林利用に関する研究を行ってきた。九州森林管理局で実施している森林生態系モニタリング調査や永田岳登山道植生回復事業の検討委員も歴任している。